

視聴覚教育

NO.347

発行日 20.11.10

発行 岡崎市AVL

編集 現職研修委員会
学習情報部

視聴覚機器保有調査の報告

学習情報部

研修部会では、

平成二十年七月に各学校の視聴覚機器の保有状況を調査した。

調査の内容は「機器の保有状況」「購入を希望している機器」「最近購入し、使用して便利だと感じた機器」の三項目である。詳細は年度末に刊行される『岡崎の視聴覚教育（第四十号）』に掲載されるが、ここで

主なデジタル機器の平均保有数【表1】(1校あたり)

機器名	小学校	中学校	小中全体
DVD プレーヤー	3.9	6.9	4.8
DVD レコーダー	0.7	1.3	0.9
デジタルビデオカメラ	3.0	3.8	3.2
デジタルスチルカメラ	26.8	23.2	25.8
MD 付ラジカセ・コンボ	6.8	6.7	6.8
ビデオプロジェクター	2.4	2.4	2.4

ポータブルタイプ、VHSとのダブルデッキも含む

学習情報部研修部会

はその概要を述べる。

主なデジタル機器の1校あたりの平均保有数は「表1」のとおりである。どの機器も必要十分な数がそろいつつあるようだ。

DVD関係では、小学校の方がやや普及が遅れているのに対し、デジタルスチルカメラは小学校の方が多い。児童が使う頻度が多いためと考えられる。

平成十七年度と比較すると主なデジタル機器の普及が一段落し、増加の傾向が緩やかになっていることが分かる。「表2」DVDについては、

平成17年度との比較(市内69校合計数)【表2】

機器名	H17	H20	伸び
DVDプレーヤー	103	328	3.2倍
デジタルビデオカメラ	159	222	1.4倍
デジタルスチルカメラ	1,530	1,779	1.2倍
MD付ラジカセ・デッキ	240	468	2.0倍
ビデオプロジェクター	108	167	1.5倍

パソコン対応のもの

視聴覚用語

「自己紹介」を作成して公開するサービス。プロフィールの省略した呼び方である。自己紹介のためのコミュニケーションツールとして、携帯上で人気を博し、アクセス数を伸ばすために過激な書き込みをしている場合があるなど、最近、多くのトラブルの原因になっている

VHSからの移行がやや遅れたこともあり最近でもまだ伸びているが、それ以外の機器では大幅な伸びはない。しかし、ビデオプロジェクトについては、とてもコンパクトかつ短焦点のモデルが登場していることで、普通教室での利用が増えると思込まれることから、増加傾向は今後も続くと思される。

「購入を希望している機器」では、ハイビジョンへの移行に伴い、HDDタイプのデジタルビデオカメラが多かった。従来のDVタイプのタイプが、市場では廃番になりつつあるので、今後のビデオカメラの動向が注目される。また、「最近購入し、使用して便利だと感じた機器」では、ICレコーダーや書画カメラ、電子黒板、ワイヤレスアンプなどが挙げられた。

「視聴覚あれこれ」

第12回視聴覚教育総合全国大会ならびに第59回放送教育研究会全国大会の開催

10月24日(金)・25日(土)に国立オリンピック記念青少年総合センター(東京)をメイン会場として、第12回視聴覚教育総合全国大会と第59回放送教育研究会全国大会が行われた。本年度は、東京都内の小学校2会場で開催が行われ、市内からも多くの方が参加した。また、各会場では平成21年度愛知大会の一次案内も配布された。



